

公益財団法人 真生会館

2026年度 事業計画書

自： 2026年4月 1日

至： 2027年3月31日

目的(定款より)

「この法人は、学生及び社会人を対象とし、カトリックの精神に則り、その智徳を深め、また、豊かな知性と教養を涵養することを目的とする。」

2026 年度の事業方針

真生会館は、複雑で多様な日本社会の中にあつて、真摯に生きようとする学生・青年たちにキリスト教精神に基づく真理の光を提示して、日本社会および世界の真の発展・進歩に貢献できる人間の育成を図る。同時に、複雑で困難な社会の現実の中でさまざまな重荷を負いながら悩みもがく社会人に誠実にキリスト教精神に基づいた学びと交わりの場を提供し、日本社会と世界の安寧と平和に貢献することを目指す。

I. 「キリスト教精神に基づいて、学生・青年と社会人に学びの場や出会いと成長の場を提供し、その智徳を深め、豊かな知性と教養を涵養して、互いの人間性を尊重しながら心豊かに人生を送ることができるようにすることを目的とする事業」(公1)

I-1. 講座等

現在、持続可能な経済・社会づくりが、日本だけではなく世界共通の目標となっている。そのために解決すべき課題や達成に向けた道筋が検討されている。真生会館は、こうした日本社会の抱える現実を直視し理解を深め、一人ひとりが心豊かな人生を送ることにより、社会全体として人々が連帯・共生できる社会をめざすことが大切だと考えている。

このために、現代社会に生き、仕事と生活の調和を図り多様な生き方の選択・実現を求める人々や、精神的な安定と全人的な成長を求める人々など、すべての人々を対象に、キリスト教精神に軸足を置き、包摂的で質の高いカリキュラムの講座等を準備し、心豊かな人生を送ることができるよう学びと出会いの場を提供する。

講座のテーマや企画設定のため、学識経験者の参画を得て「事業企画推進委員会」を概ね年3回開催し、現代日本においての社会的課題などを提起し、その課題に応えるべく具体的内容を決定する。

①講座の実施等

年間の講座は、4-7月期、9-12月期、1-3月期の三期に分けて、次の、四つの柱に沿って企画・実施する。

- [I. 現代人の生き方、社会を考える- 現代社会のありようについて学び、その中での人間の生き方を考える講座] 土曜講座など
- [II. キリスト教の光に人間の生き方を求めて- 現代社会にあつて、迷い、悩み、傷つき、苦しむ人々を理解し、寄り添う講座] 日曜講座など
- [III. キリスト教文化、教養(音楽・読書・話し方・・・)] 美術と聖書など
- [IV. キリスト教の源泉と遺産] 聖書コースなど

- ・2026年度新規開始の講座
 - 岩下壮一「留学日記」を読む：月一回水曜 15:00-16:30 加藤和哉
 - 「キリスト教入門 初心者コース」：月二回木曜 18:00-19:30 森田直樹
 - 「キリスト教の典礼を知る」：月一回金曜 14:00-15:30 石井祥裕
 - 「ナルニア国物語で読み解く聖書」：月一回金曜 14:00-15:30 本多峰子
- ・4月に、真生会館の利用者に向けた「感謝の集い」を開催

②外部の団体・公益法人・NPO等との連携、支援、協力

- ・一時的な会場使用として要望があった場合に、趣旨やグループの背景を検討して、真生会館の活動目的に沿っていると判断した場合に、施設を提供する。
- ・その他、真生会館と目的を同じくする団体には、支援・協力をを行う。

I-2. 学生・青年たちの活動支援

①学びの場、議論の場・交わりの場・楽しむ場・思索の場の提供

- ・真生会館の学生室で、学生スタッフが企画したプログラムを開催し、学生や青年が参加する。企画は曜日ごとに、テーマや方式を変えて開催する（平日 19:00-21:00）。本年度のスタッフは7名程度の予定。各曜日の企画の準備と運営を2,3名で分担して行う。指導者が、スタッフとともに関わり、サポートする。

*各曜日の企画予定（※活動内容の細部、曜日は変更となる可能性あり）

- （月曜日）映画鑑賞等を導入として、分かち合う。
- （火曜日）自由な時間をテーマに、話し合いをしたり、ボードゲームをしたりして楽しむ。
- （水曜日）スタッフやゲストの母国料理など様々な料理を共に作り、交流する。
- （木曜日）祈りの木曜日：日常の中で落ち着いた時間を持ち、ともに祈る。
- （金曜日）マジ金：ワカゲをサポートする指導者と一緒に、テーマを決めて語り合う。

*主な行事：4月（前期始業式）、7月（前期終業式）、9月（後期始業式）、12月（クリスマス会）、1月（成人式の祝い・後期終業式）、3月（新旧スタッフの引継ぎ合宿）

その他館外での特別行事の企画開催

- ・ワカゲの活動に関連した外部の学生・青年グループに対して、会議や企画などの会場として真生会館の施設を提供するなど協力する。

②海外の学生・青年活動との交流・連携

- ・本年度も、ワカゲの活動に上智大学アルペ国際学生寮からの参加をよびかける。
- ・アジアあるいは他の海外地域での企画に、青年たちが参加するよう支援・協力する。

II. 上智大学国際学生寮の用地としての土地の賃貸事業(収1)

- ・学校法人上智学院への上智大学国際学生寮の用地として土地賃貸を事業として継続する。

III. その他

- ・建て替えから10年目を迎えるにあたり、10周年記念事業を行う。